

神奈川県立茅ヶ崎養護学校だより



平成 30 年度 No. 2

(通算 62 号)

平成 30 年
7 月 20 日発行

題字
B 高 2 年 高園洋介

それぞれにその人らしい 次のステップ

校長 鈴木 裕子

たとえば、次のような学習の状況の児童生徒がいるとします。

生きる力を育てる次のステップを、どのような視点で目標を立て、活動を準備しますか。

事例 1

「教員の隣の席で、5 部品のボールペンを 30 秒で 1 本のペースで組み立てられる。30 分継続して取り組める。」

1. 部品の多い、より複雑な工程の筆記用具が組み立てる
2. より早く組み立てる、または、より長い時間取り組む
3. 教員の隣でなくても、または、教員がいなくても取り組める
4. 自分の覚えたことを他の人に教える
5. 不良な部品がある、または、部品が不足している状況で、適切な方法で支援を求める
6. 自分の製品の不良を注意されても、心折れずにやり遂げる



事例 2

「慣れた教員と、いつもの場所で、個別対応で、特定の食品が食べられる」

(・初めての人とは食べない・他の人がいると食べられない・好きでないものには口を開けないなど)

1. 慣れた教員と、1 対 1 で、好きなものを目当てに、好物でない食品を一口食べる
2. 慣れた教員と、他の子 (クラスの他の児童等 → 交流相手校の児童等) が同席している場で食べる。
3. 慣れた教員から「どっちが食べたい？」と聞かれ、好きなものを選べる
4. 他の教員 (クラスの他の教員 → 他クラスからの応援教員) と食べられる
5. いつもと違う場所 (他の教室 → 校外) で食べられる

夏季休業中に、前期の学習活動を振り返り、後期計画の検討を進めます。その人らしい自立と社会参加の実現につながる次の「目標」「活動」「手立て」「支援」をチームで考えてまいります。

B 小 4 年 →





生徒等と教職員の適切な連絡方法について

- * 教員は、緊急を要する業務上の連絡に限り、校長の許可、保護者・本人の承諾を得て生徒のメールアドレスを収集し、メールを使用することができます。
- * 教員が生徒へメールする場合、校長の許可を得た業務用アドレス（@pen-kanagawa.ed.jp）を使用します。
- * 教員と生徒がメッセージアプリのIDを交換したり使用したりすることは例外なく禁止されています。教員は生徒と私的なやりとりはできません。

本日高等部生徒を対象に、教職員との適切な連絡方法について、校長から話しました。ご家庭でもご確認いただき、ご質問や何か気にかかることがありましたらお知らせください。

平成 30 年度 第 1 回 学校評議員会議

○平成 30 年 7 月 5 日 午前開催

○今年度の学校評議員（敬称略 50 音順）

- | | |
|-------|---------------------|
| 伊藤甲之介 | 鎌倉女子大学 准教授、茅ヶ崎市教育委員 |
| 神部 愛 | 本校 PTA 会長 |
| 高野 幸子 | 社会福祉法人 碧 理事長 |
| 佐々木幹夫 | 西久保自治会長 |
| 遠田 千穂 | 富士ソフト企画株式会社 人材開発部長 |
| 野上美津子 | 茅ヶ崎立浜之郷小学校長 |
| 松永 徹 | 児童発達支援センター うーたん施設長 |

○協議から

（卒業後の生活に必要な生きる力）

金銭管理・健康管理

孤独に耐える力（「一人の時間」を良い習慣・健康的な活動で過ごせること）

仕事以外の趣味、仕事以外の仲間、仕事以外の人生

弱音を吐ける人間関係

スポーツの中で育まれるチームワーク

その他、インクルーシブ教育に特別支援学校が果たすべき役割、主権者教育、教員の資質・同僚性等についてご意見をいただきました。

A中 畑のなすび →

